

## 令和5年度全国学力・学習状況調査についてのお知らせ

今年度、全国の6年生を対象に実施されました、全国学力・学習状況調査の本校の調査結果の概要をお知らせいたします。

### I 教科別学習状況調査の結果

#### (1) 平均正答率と主な成果

	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率 (%)	平均正答数	平均正答率 (%)
横浜市立平沼小学校	9.7/14	69	11.4/16	72
全国との差		+2.8		+9.5
全国	9.4/14	67.2	10.0/16	62.5
神奈川県	9.3/14	66	10.1/16	63

#### (2) 主な成果と課題

- 「国語」「算数」双方において、全国・神奈川県の平均よりも上回る結果となりました。
- 以下の設問においては、全国平均よりも本校の平均正答率の高さが顕著に見られました。  
【各教科の問題番号】、問題概要、出題の趣旨、分析内容を記載します。

#### 〈○成果〉

##### 【国語】

##### 〔2二〕

問題概要	問題文（メモ）の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する。
出題の趣旨	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。
分析内容	本設問では、目的に応じて、文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりする力が求められます。問題では2つの資料を読んでわかったことをメモにまとめている文章が提示されていました。提示された2つ資料から捉えた情報を互に関連付けて考える力は、全国平均正答率67.4%に対して、75%と大きく上回っていました。

## 【算数】

〔3二〕

問題概要	3種類の幅（厚さ）の異なるファイル23人分を全部並べたと長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを棚に入れることができるかどうかを判断する。
出題の趣旨	示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できるか。
分析内容	本設問では、提示された場面を解釈し、小数の加法や乗法の二つの演算を選択し、 <u>求め方と答えを式や言葉を用いて記述</u> する。その結果から条件に当てはまるかどうか解決の過程を振り返る力が必要です。複数の条件を理解して考えたことを表現する力は、全国平均正答率56.7%に対して67%と大きく上回っていました。

## 〈△課題〉

### 【国語】

目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめて記述する力に関しては、「無答（記述なし）」の児童が見られました。

### 【算数】

設問で示された棒グラフと複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述する力に関しては、「無答（記述なし）」の児童が見られました。

## 2 今後の取組について

基本的な知識・技能を問う設問では高い正答率が見られました。今後も一人ひとりが学習の基礎・基本の定着を図れるように指導・支援をしていくとともに、個に応じた学習を大切にしながら進めていきたいと思えます。

また、各教科で考えたことを記述する力に課題がありました。事実を捉えることや、状況を捉える学習過程を大切にしながら、粘り強く自分の考えを表現できるように授業を計画していきたいと思えます。本校で大切にしている「問題解決力」・「コミュニケーション能力」を育成していく過程で、上述したような課題に向けて日々取り組んでいきます。

## 3 学習習慣・生活習慣の特徴的な結果と今後の改善策について

### 【学習に関すること】

「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいましたか」という項目と「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」という項目では、全体の約85%の児童が肯定的な回答を示していました。一人ひとりが主体的に学習に向かう中で、友だちと関わりながら学習を進め、深めていることが分かります。今後も学校で学ぶことのよさを実感できるようにカリキュラム・マネジメントを進めていきます。

### 【生活に関すること】

「新聞を読んでいますか」という項目では、全体の約80%が「ほとんど、または、全く読まない」と回答した児童が多かった一方で、「読書は好きですか」という項目では、肯定的な回答をしている児童が多くみられました。時代の変化に対応するとともに、活字にも触れる機会を確保するため、読書の時間も大切にしていきます。